

のべ 500 人のクラブ会員が集まり
知恵を出し合って一緒に考えた

知多市老人クラブ活性化方針

(知多市老人クラブあり方検討会 報告書)



平成29年3月
知多市老人クラブあり方検討会

ごあいさつ

「今後の老人クラブのあり方を考えて」

知多市老人クラブ連合会 会長 南澤君義



知多市老人クラブ連合会は、昭和45年に誕生し、老人福祉制度を背景に発展して、高齢化社会を象徴する代表的な団体として認知されてきました。

平成27年は戦後社会を牽引してきた「団塊世代」がすべて65歳以上の高齢者となり、総人口の4人に1人を占める超高齢化の社会となり、会員増強にとって絶好のチャンスでした。しかし「団塊世代」の生活習慣・意識やニーズを十分に受け止められず逆に平成21年度以降年々「会員減少」は止まらず厳しい現実に向き合っております。ただ、知多市の加入率は33.8%（平成28年度）と県平均21.1%に比べ高くなっており、先輩諸氏や会員の皆様のご尽力、ご努力に感謝いたしております。

しかしながら、年々続く会員の減少は、老人クラブの活力が失われ、このまま推移すれば老人クラブとして大変なピンチに陥る事は明白であります。

このような状況を踏まえ、各校区から代表者を選出して「老人クラブあり方検討会」を設置し、今後の老人クラブの活性化に向けた検討を行ってまいりました。

① 組織・活動の魅力アップ、②情報発信の充実とイメージアップ、③勧誘活動の徹底・強化、④役員の負担軽減と運営体制の強化、⑤関係機関との連携強化の5つの課題について検討を重ねるとともに、80単位クラブの会長・副会長が一堂に集まり2回の研修会（情報交換会）も行い、今後の取り組みについてまとめる事ができました。

今後とも単位クラブの皆様には「やれそう」「やってみよう」「やるべき」という観点から一つでも実践していただく事を強くお願いするものでございます。

今私達は時代の転換期に立っております。

医療と福祉を柱にした「地域包括ケアシステム」の構築は大きな課題です。

「団塊世代」の方々が様々な形で友情の絆を深め、新たな老人力として積極的に役割を果たし、地域の中で自らが生き生きとした活動ができることを進めていきたいと思っております。

【目次】

1	はじめに	1
2	知多市の老人クラブの現況	4
3	老人クラブが抱える問題点	8
4	知多市老人クラブが目指す将来像	10
5	3つのキーワード	10
6	老人クラブ活性化の基本方針	11
7	取組アイデア	12
8	はじめの一步チャレンジ	16
9	今後に向けて	17

1 はじめに

(1) 本冊子の背景・目的

知多市老人クラブ連合会、各単位老人クラブの直面している課題として、会員の減少、役員の後継者不足、事業のマンネリ化、資金確保などがここ数年来の懸案事項として会員から寄せられていた。

今後、ますます高齢化が進む中で、老人クラブが担う役割は大きいものがある。地域包括ケアシステムが検討される中で、会員はもとより新たな会員とともに健康長寿を推進する今後の老人クラブの具体的な方法論を検討するため「知多市老人クラブあり方検討会」を設置した。

(2) 策定について

1. 策定体制

「知多市老人クラブあり方検討会」について知多市老人クラブ連合会の会長、副会長と各校区の代表者、事務局(福祉課、社会福祉協議会)で検討を行った。また、会長・副会長合同研修会の場において、各単位老人クラブの会長・副会長も参加することで全市的な検討を進めることとした。

	役 職	氏 名	所 属
1	会 長	南 澤 君 義	連合会会長・つつじが丘長寿会第1
2	副 会 長	井 料 廣 澄	連合会副会長・つつじが丘長寿会第6
3		熊 木 齋	連合会副会長・長浦松寿会
4		三 村 和 平	連合会副会長・亥新田北部長寿会
5	委 員	神 谷 廣 雄	廻間第一至誠会
6		竹 内 司	新六・七長寿会
7		鰐 部 忠 夫	佐布里東部長寿会
8		横 井 徳 二	つつじが丘長寿会第3
9		竹 澤 徳 彦	岡田第2長生会
10		大 江 徹	大草南北長寿クラブ
11		近 藤 幹 夫	粕谷台3丁目健寿会
12		吉 田 辰 雄	日長台シニアクラブ
13		事 務 局	松 下 謙 二
14	河 村 康 英		社会福祉協議会職員
15	土 田 裕 記		社会福祉協議会職員
16	コンサルタント	池 田 哲 也	地域問題研究所主任研究員

2. 策定経過

「知多市老人クラブあり方検討会」を6回開催し、検討を重ねるとともに、各単位老人クラブにアンケート調査を実施し、単位老人クラブの現状やニーズの把握に努めた。さらに、2回の「知多市老人クラブ連合会会長・副会長合同研修会」で現場の声を直接聞きながら、各単位老人クラブで取り組まれている好事例や課題の解決に向けたアイデアなどについて意見交換を行った。

日時	名称	主な検討内容	参加者数
平成28年			
7月8日	第1回知多市老人クラブあり方検討会	<ul style="list-style-type: none"> あり方検討会の概要 連合会の現状と課題 アンケート調査の設計 	16人
8月19日	第2回知多市老人クラブあり方検討会	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の設計 未加入者の意見 背景・問題点の意見交換 	15人
9月1日 ～9月30日	老人クラブ組織活動調査アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> 全24問 郵送方式 	76 クラブ
10月14日	第3回知多市老人クラブあり方検討会	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の報告 会長・副会長合同研修会の進め方 	16人
10月28日	第1回知多市老人クラブ連合会会長・副会長合同研修会	<ul style="list-style-type: none"> 単位老人クラブの活動の中で取り組まれている活動の情報交換 	190人
11月10日	第4回知多市老人クラブあり方検討会	<ul style="list-style-type: none"> 会長・副会長合同研修会の振り返り 基本方針と解決策のアイデア 第2回会長・副会長合同研修会の進め方 	15人
12月9日	第5回知多市老人クラブあり方検討会	<ul style="list-style-type: none"> 今後の活動の基本方針と課題解決の取組みアイデア 第2回会長・副会長合同研修会の進め方 	16人
12月13日	第2回知多市老人クラブ連合会会長・副会長合同研修会	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決の取組アイデアの意見交換 	190人
平成29年			
1月13日	第6回知多市老人クラブあり方検討会	<ul style="list-style-type: none"> 第2回会長・副会長合同研修会の振り返り 知多市老人クラブ活性化方針（あり方報告書）案 	15人

(知多市老人クラブあり方検討会の様子)

第3回 (10月14日)



第5回 (12月9日)



(知多市老人クラブ連合会会長・副会長合同研修会)

第1回 (10月28日)



第2回 (12月13日)



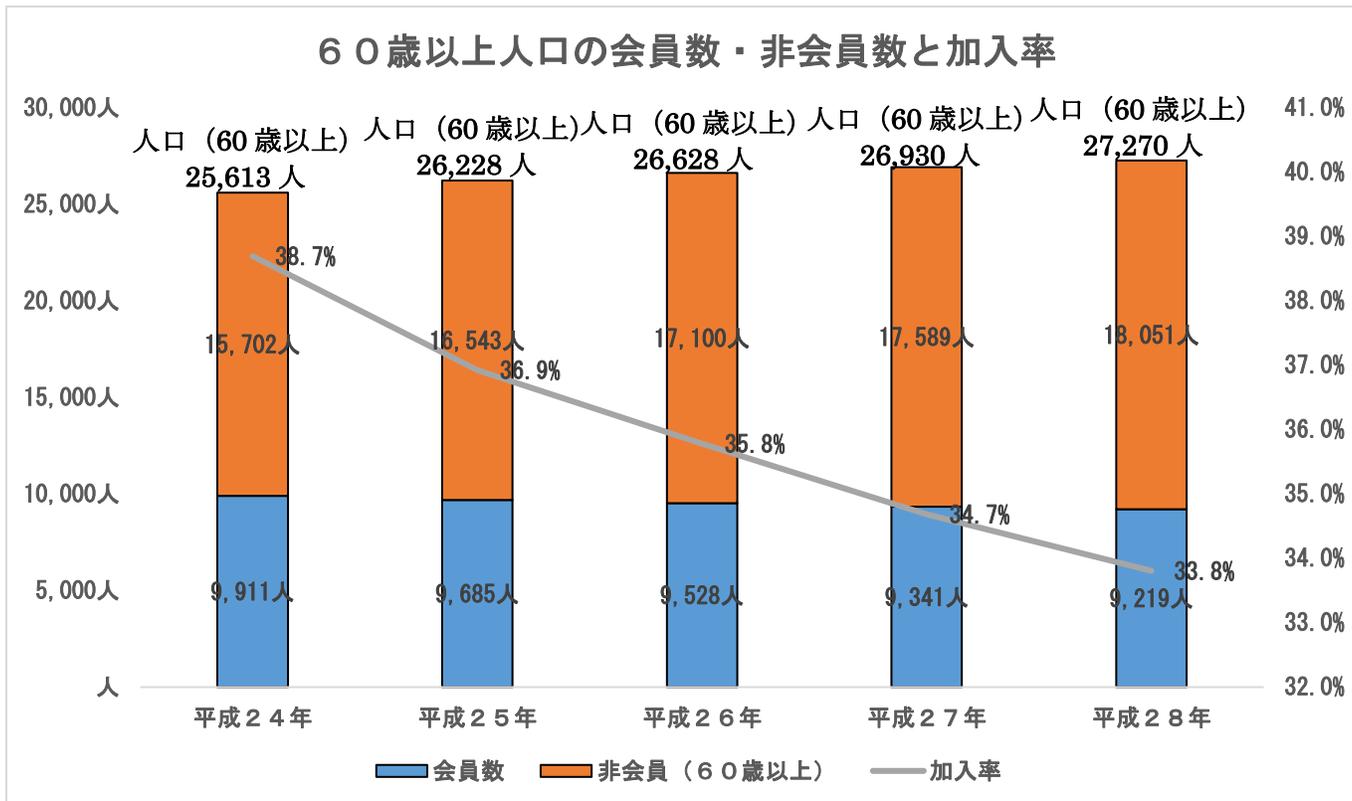
2 知多市の老人クラブの現況

(1) 基礎データ

1. 会員数、単位クラブ数、加入率 (平成28年4月1日現在)

●知多市	総人口	:	86,025人
	60歳以上人口	:	27,270人
	会員数	:	9,219人
	単位クラブ数	:	80クラブ
	加入率	:	33.8%
●愛知県	会員数	:	330,910人
	加入率	:	21.1%
●全国	会員数	:	5,906,292人
	加入率	:	13.9%

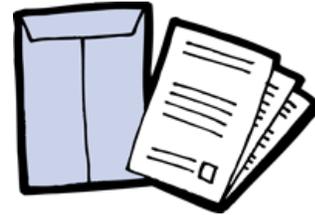
2. 加入率の推移



(2) アンケート調査結果

1. 調査概要

- 調査実施：平成 28 年 9 月 1 日～30 日
- 調査方法：郵送法
- 回答数：76/80 クラブ (95%)
- 男女割合：男性 49%、女性 51%



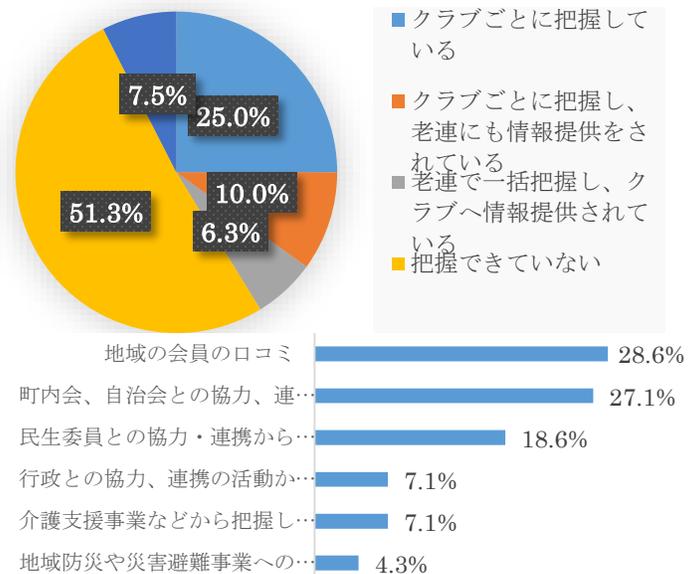
2. 地域に居住する高齢者情報の把握

地域に居住する高齢者情報を把握しているかについては、把握しているクラブが41.3%、把握できていないクラブが51.3%となっている。

把握方法については、「地域の会員の口コミ」が28.6%と最も多く、次いで「自治会との協力、連携から把握している」「民生委員との協力・連携から把握している」となっている。

個人情報保護法により行政から情報を得ることが難しくなってきたため、町内会や民生委員と協力・連携し把握していることがわかる。

また、会員の口コミで60歳以上の地域住民を把握し、新規会員の獲得を目指しているクラブも多くある。

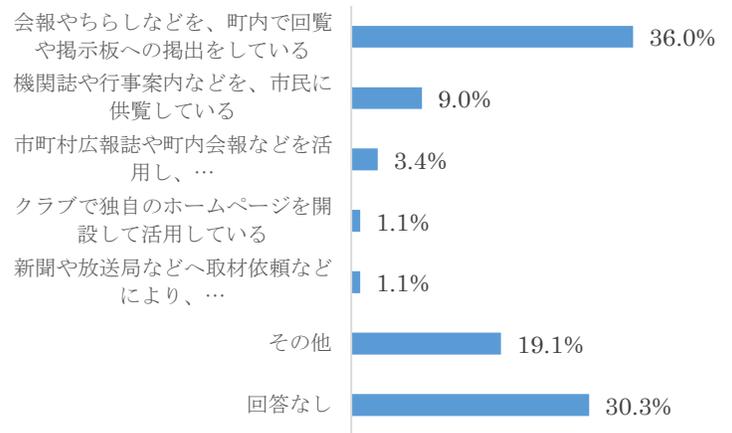


3. 地域の高齢者・住民への啓発活動について

地域の高齢者・住民への啓発活動については、「会報やチラシなどを町内で回覧や掲示板への提出をしている」が36.0%と最も多く、次いで「機関紙や行事案内などを、市民に供覧している」が9.0%となった。

その他の中には、「特に啓発活動を行っていない」という回答もある一方、「地域の常設サロンにチラシや会報紙、クラブ発行物などを置いてある」という回答もあった。

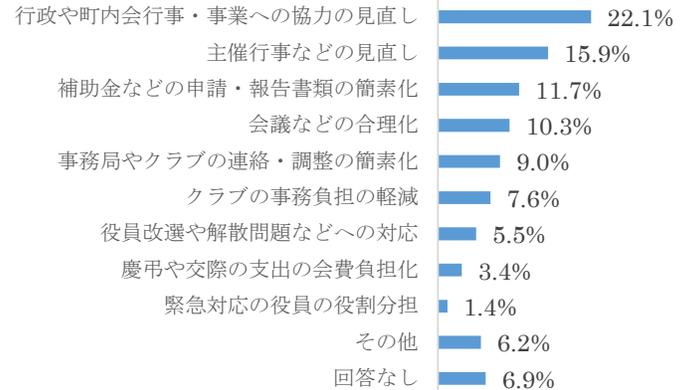
チラシを作成しているクラブについては、地域の高齢者・住民への啓発活動が実施されていることがわかる。



4. 会長や役員負担軽減のために必要だと思う事

会長や役員負担軽減のために必要だと思う事について聞くと「行政などへの協力の見直し」が22.1%と最も多く、次いで「主催行事などの見直し」「補助金などの書類の簡素化」「会議などの合理化」となった。

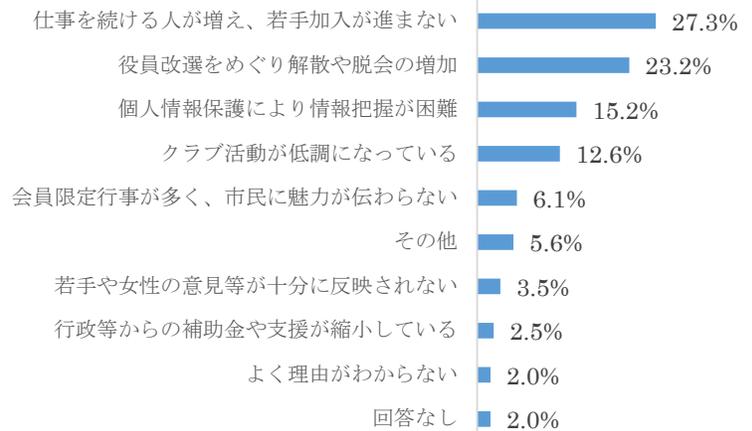
負担軽減のためには、外部機関への協力と自クラブの仕事を見直し、合理化していく事が必要だと考えている事がわかる。



5. 会員の減少や低迷の要因について

会員の減少や低迷の要因については、「仕事を続ける人が増え、若手加入が進まない」が27.3%と最も多く、次いで「役員改選をめぐりクラブ解散や脱会が多くなっている」「個人情報保護法により情報把握が困難」となった。

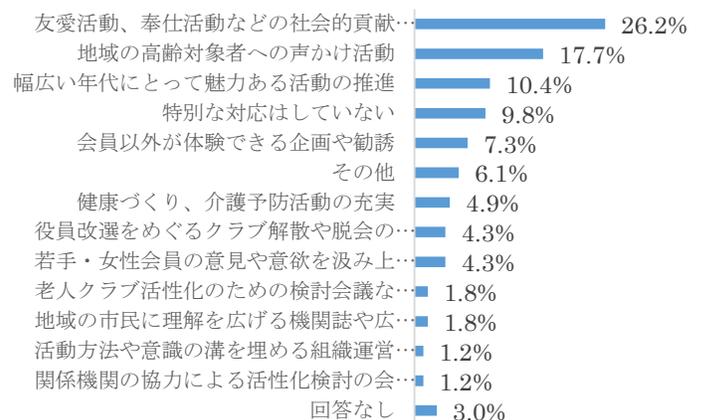
個人情報保護法や加入が可能な年齢になっても働き続ける人が増え、新規会員の獲得が困難になってきている。また、「役員になりたくない」といった理由から脱会者が多くいる事もわかる。



6. クラブ活動の活性化の取組について

クラブ活動の活性化のために必要なことについては、「友愛活動、奉仕活動などの社会的貢献活動」が26.2%と最も多くなっている。

また、「地域の高齢対象者への声かけ活動」「幅広い年代にとって魅力ある活動の推進」「会員以外が体験できる企画や勧誘」といった会員以外の方への働きかけにも取り組んでいるクラブもある。



(3) 老人クラブを取り巻く状況

(あり方検討会の検討結果)

1. ライフスタイルの変化、選択肢の多様化

- 外で趣味や旅行、ボランティアなど活発に活動する 60-70 歳代のアクティブシニアが増加している。
- 仕事や親の介護、家族の世話などで多忙な人が増加。両立している会員は参加が難しい。
- 様々なサークル活動や講座があり、趣味や仲間づくりができる機会（選択肢）が増加している。
- 地域とのかかわりや団体行動など、人間関係を煩わしいと考える人が増加している。
- 互助のボランティア精神が希薄化している。

2. 老人クラブに求められる社会的な期待・役割

- 医療費などの社会保障費が増大。本市は生活習慣病の割合も高く健康寿命の延伸が課題。
- 高齢者の生きがいづくりや社会参加の受け皿としての社会的な期待や役割が大きい。
- 介護保険の見直しで、要支援 1・2 に対する地域での見守りが求められる。
- コミュニティや子ども会でも、同様に加入率が低下し、コミュニティの役員も単年度で地域の状況がわからない。そのため老人クラブが多くの役割を肩代わりしている。
- 地域包括ケアシステムやコミュニティの互助の担い手として、老人クラブへの期待が大きい。
- 一方で、行政からの補助金や支援が削減される方向にある。

【参考：老人クラブ未加入者の声】

老人福祉センターなどの来館者のうち、老人クラブに加入していない 65 歳以上の高齢者 15 人を対象に、老人クラブに入らない理由などを尋ねた。その結果、未加入者自身に関する問題と、老人クラブ側に関する問題を聞くことができた。

【未加入者自身の問題】

- 「人間関係がわずらわしくなっている」
- 「仕事や家事、介護、趣味などで多忙」
- 「役員などをやらされるのが嫌だ」
- 「老人扱いされたくない」

【老人クラブ側の問題】

- 「活動に魅力が感じられない」
- 「老人クラブの活動実態が知られていない」
- 「閉鎖的なイメージ」
- 「そもそも勧誘をうけたことがない」



3 老人クラブが抱える問題点

問題点① 組織・活動の意義や魅力があいまい

- 活動がマンネリ化し、魅力やメリットが感じられない。
- 役割や存在意義、必要性が不明確（同好会的な役割 ⇄ 互助会的な役割）。
- 昔ながらの活動内容が多く、若い世代の意見を反映した見直しが不十分。

問題点② 広報活動が弱く情報不足・イメージが悪い

- 「老人」クラブの名称のイメージが悪い。会員外への情報提供が不十分。
- 意義や魅力などについて発信不足で、老人クラブの活動内容や魅力が伝わっていない。
- 活動内容や忙しさなどがわかりにくい。

問題点③ 加入のきっかけがなく、勧誘が弱い

- クラブに入るきっかけがない。そもそも勧誘活動を行っていない。
- 地域で把握している個人情報古い。個人情報の壁があり、新しい情報が把握できない。
- 現役員と若手高齢者の間で年齢差が大きく、地域でもつながりが薄い。
- 自分が対象者であることの自覚がない、しらない。
- そもそも身近な地域に老人クラブがない。

問題点④ 担い手不足で役員の負担増大

- 役員候補が見つからず、再登板・長期登板になり担い手不足や高齢化。
- 友愛訪問などもやらないといけないので役員はとて多忙だが、報酬はない。
- 女性や若い会員の活躍のしくみが不足。女性や若い会員の力が活かされていない。
- 資料づくりなどのパソコン作業が大変で、市に提出する書類作成なども煩雑。

問題点⑤ 運営体制が弱い

- 運営ノウハウやマネジメントの仕組みが不十分。
- 単年度の任期で経験やノウハウが継承されず、運営の見直しが困難。
- とくに女性や若い会員の意見が運営に反映されにくい。
- 事務局機能に限界がある。
- 老人クラブ間の交流や、課題やノウハウを情報交換する機会が少ない。

問題点⑥ コミュニティとの連携が不十分

- 高齢者や児童の見守りなど、地域の期待は高まっているが、応えきれない場合もある。
- コミュニティとは相互協力関係にあり要請があれば応えたいが、限界もある。

問題点⑦ 新規加入の減少や高齢者の退会による 会員減少・加入率低下

- 知多市の加入率は 33.8%（平成 28 年度）で、県平均 21.1%よりは高い水準にあるものの年々低下しており、単位老人クラブ数も減少傾向が続いている。
- 60 歳代の若手高齢者（アクティブシニア世代）の新規加入が少ない。
- ペーパー会員が増加（全体の 7～8 割を占める）。
- 高齢になり、日常的な活動（義務）や役員などを担うことができず、退会する会員も増加。

4 知多市老人クラブが目指す将来像

支えつづけて50年。みんなのワクワクが集まれば、もっと元気になる。

**楽しむことからはじめよう！
次へ一緒に、知多市老人クラブ**

5 3つのキーワード

(1) 『かっこいい』 老人クラブ

高齢者ならではの知恵や経験を発揮してイキイキと地域で活動し、子ども達や子育て世代など地域住民から頼られる存在になろう！子どもや孫の世代から「うちのじいちゃんカッコいい」「母さんイケてる！」って憧れてもらえるような、そんな老人クラブを目指そう！



(2) 『楽しい』 老人クラブ

孤独や病気など、様々な生活不安を抱えがちな高齢者が、気心の知れた仲間を見つけられる。趣味の活動や健康づくり、地域活動などを通じて新たな楽しみや刺激、生きがいを見つけられるような、そんな老人クラブを目指そう！



(3) 『やさしい』 老人クラブ

地域で助けを必要としている子ども達や子育て世代を支えたり、ひとり暮らしの高齢者の相談にのったり、地域の困りごとに臨機応変に対応する。みんなにやさしい思いやりのある活動を通じて、地域に必要とされる役立ち感に満ちた、そんな老人クラブを目指そう！



6

老人クラブ活性化の基本方針



基本方針②
情報発信の充実と
イメージアップ

基本方針⑤
関係機関との
連携強化

基本方針③
勧誘活動の
徹底・強化

地域 コミュニティ

未加入者

老人クラブ

基本方針①
組織・活動の
魅力アップ

基本方針④
役員の負担軽減と
運営体制の強化

7

取組アイデア

基本方針	取組アイデア	
【基本方針①】 組織・活動の 魅力アップ	1	活動内容の再点検
	2	趣味の活動や懇親会などによる会員同士の交流や健康づくり
	3	近隣老人クラブや子ども会などとの合同事業・交流会
【基本方針②】 情報発信の充実と イメージアップ	4	友愛訪問や挨拶運動を通じたイメージアップ
	5	自治会経由で地域にPR
	6	ポスターや広報誌、ホームページなどの作成
【基本方針③】 勧誘活動の 徹底・強化	7	入会案内書類（チラシなど）の充実
	8	入会案内チラシのひな形（モデル）作成・提供
	9	自治会との情報交換による対象者の把握
	10	同年代の声かけによる未加入者への個別訪問
	11	60歳前後の市民向けの老人クラブ加入説明会の開催
	12	未加入者との意見交換やアンケート実施
【基本方針④】 役員の負担軽減と 運営体制の強化	13	役員任期などの制度の見直し
	14	事業別担当者の配置などによる負担の平準化
	15	若手や女性の意見把握や登用
	16	入会金・会費の見直し
	17	老人クラブ間の交流・情報交換会の定期開催
【基本方針⑤】 関係機関との 連携強化	18	自治会関係者との意見交換会の開催
	19	運営の見直し・簡素化のためのマニュアルの提供

【基本方針①】組織・活動の魅力アップ

取組アイデア		内容・方法など
1	活動内容の再点検	現在行っている年間活動について、意義や必要性、会員の楽しさや満足感などを会員同士で確認する。マンネリ化していたり必要性が低い活動、費用や負担がかかり過ぎている活動を見直すなどして、無理なく・無駄なく・楽しく持続できる活動内容に改善する。
2	趣味の活動や懇親会などによる会員同士の交流や健康づくり	会員同士の交流を深めたり健康づくりに役立つように、同じ趣味や娯楽を持つ会員によるクラブ活動（例：麻雀、カラオケ、手芸、男性料理など）や市老連大会の開催、サロン活動、懇親会、健康づくりに関する勉強会など、気軽に楽しく参加できるような機会を増やす。
3	近隣老人クラブや子ども会などとの合同事業・交流会	近隣の老人クラブをはじめ、自治会や子ども会などの他団体や世代との交流を深め、趣旨や目的が共通するものは一緒に活動する。そのような機会を増やすことで、手間や費用を抑え内容の充実を図り、相互にメリットのある活動を展開する。

【研修会などで出されたその他のアイデア】

- 新会員や若手会員、女性会員などの意見を踏まえた活動内容の見直し
- 見守り等の世話が必要な家族の一時預かりによる、参加しやすい環境づくり など

【基本方針②】情報発信の充実とイメージアップ

取組アイデア		内容・方法など
4	友愛訪問や挨拶運動を通じたイメージアップ	友愛訪問や挨拶運動など、単位老人クラブで行っている地域貢献活動の充実を図るとともに、それらの活動を積極的に地域にアピールすることで、老人クラブの認知度向上とイメージアップを図る。
5	自治会経由で地域にPR	60歳以上の高齢者だけでなく、幅広い世代の住民に日頃から老人クラブの活動を知ってもらうため、自治会やコミュニティを經由して各世帯にチラシやパンフレットを回覧するなどPRに努める。
6	ポスターや広報誌、ホームページなどの作成	老人クラブの存在や活動内容について周知を図り、若い世代にも興味・関心を持てるように、会員の手作りによるポスターやチラシ、広報誌、ホームページなどを作成して情報発信に努める。

【研修会などで出されたその他のアイデア】

- シルバー人材センターや老人福祉施設など、高齢者が多く集まる施設での情報提供
- 60歳（65歳）の住民に、個別にチラシを持参して声かけ・あいさつ など

【基本方針③】勧誘活動の徹底・強化

取組アイデア		内容・方法など
7	入会案内書類（チラシなど）の充実	単位老人クラブの年間の活動内容や、その魅力・楽しさが伝わるように、写真を使って行事の雰囲気やメンバーがイキイキと活躍する様子などわかりやすく表現した入会案内のチラシやホームページを作成する。
8	入会案内チラシのひな形（モデル）作成・提供	他市を含め先進的な情報発信や勧誘活動を行う老人クラブのチラシやパンフレットなどを参考に、魅力的な入会案内チラシが簡易に作成することができるよう、社会福祉協議会などの支援を受けて入会案内チラシのひな形文書（モデル）を作成する。
9	自治会との情報交換による対象者の把握	自治会長など地域の状況に詳しい個人・団体との情報交換を行い、加入対象者のきめ細かい把握に努める。
10	同年代の声かけによる未加入者への個別訪問	未加入の主な理由に挙げられている「加入を受けた経験がない」という課題に対応するため、顔なじみであったり親しみや安心感のある同世代の会員が中心となって個別に未加入宅を訪問して、加入を働きかける。
11	60歳前後の市民向けの老人クラブ加入説明会の開催	60歳前後の高齢者を対象にしたイベントや講座などで、老人クラブの紹介や勧誘、情報提供を行うとともに、活動発表などを兼ねた加入説明会を開催し、加入促進の機会を拡大する。
12	未加入者との意見交換やアンケート実施	加入しない高齢者に対して、意見交換や個別の聞き取り、アンケート調査などを実施して、印象や評価、未加入の理由、加入促進の課題などを把握して、今後の情報発信や加入促進の基礎資料として役立てる。

【研修会などで出されたその他のアイデア】

- 地域内の未加入者の実態把握（調査、マップ作成など）
- お試し活動体験会の開催



【基本方針④】 役員の負担軽減と運営体制の強化

取組アイデア		内容・方法など
13	役員任期などの制度の見直し	活動の活性化を図っている単位老人クラブの取り組みを参考に、活動の充実や効果的な組織運営を行いやすい役員制度（役員任期を複数年にすることや、様々な役員経験を積むことなど）への見直しを行う。
14	事業別担当者の配置などによる負担の平準化	一部の役員に過度な負担がかからないように、通常の役員に加えて、事業の企画・運営を一時的にサポートする担当者（世話人）を配置するなど、多くの会員が関わることで役員の負担軽減を図る。
15	若手や女性の意見把握や登用	役員やリーダーの担い手育成として、新たに加わった若手会員や女性会員などの意見を積極的に反映させるとともに、これまでの慣習を見直し、役員や事業担当者に登用して人材育成を進める。
16	入会金・会費の見直し	活動内容の再点検（アイデア1）と合わせ事業費を見直すとともに、行政や自治会などからの助成を踏まえた収支のバランスにも考慮して、適正な会費について検討する。また、加入促進の面からも入会金の必要性などについて見直しを行う。
17	老人クラブ間の交流・情報交換会の定期開催	単位老人クラブの悩みや課題を共有するとともに、独自の工夫や知恵、ノウハウを学び合いよりよい運営に役立てるために、会長・副会長の研修の機会などを活用した意見交換、先進的取組の表彰や報告、情報交換などの機会を定期的に設ける。

【研修会などで出されたその他のアイデア】

- 誰でも気軽に参加できる、参加したくなる楽しい役員会づくり
- 単位老人クラブの新設・統合（1町内に1クラブを目指す）

【基本方針⑤】 関係機関との連携強化

取組アイデア		内容・方法など
18	自治会関係者との意見交換会の開催	単位老人クラブの活動が住民の暮らしに貢献できるように、自治会関係者との定期的な意見交換会を開催して、理念や活動内容への理解を深めるとともに、地域の実情や住民のニーズなどを把握することで、地域に喜ばれる活動へと生かしていく。
19	運営の見直し・簡素化のためのマニュアルの提供	連合会として各単位老人クラブの実情を勘察し、今後も無理なく安定的に活動が持続できるように、事業内容や組織運営の効率化、簡素化に取り組むためのマニュアル（モデル）を提供する。

8

はじめの一步チャレンジ

チャレンジ①

「同年代による説明会&個別訪問で声かけ」



【ねらい】 仲間意識が強く安心感のある同世代会員から対象者に声掛けして勧誘を促す。

【ここから始める 小さな一歩】

- ② 未加入者への個別の聞き取りや意見交換などを行い、ニーズや課題を理解しておく。
- ② 自治会からの情報を手掛かりにして、加入対象者の情報を定期的に把握する。
- ③ 自治会経由で勧誘チラシを配布するとともに、既存イベントに絡めて若手が説明会を開催する。
- ④ 会員が手分けして、同世代の知り合いの対象者などに直接勧誘の声かけを行う。

チャレンジ②

「写真を使ってイキイキ楽しい勧誘チラシの作成」



【ねらい】 魅力や楽しさが伝わるような簡単な案内資料を作成して、興味を持たせる。

【ここから始める 小さな一歩】

- ① パソコンチラシ作成講習会などにも参加して、チラシづくりのノウハウを学ぶ。
- ② 事務局の「チラシひな形」も参考に、写真を盛り込んだ魅力的な加入案内チラシを作成する。
- ③ ポスターやかわら版、ホームページなども作成する。
- ④ 自治会を経由して、日常的に活動内容や会員募集などの情報発信を継続して行う。

チャレンジ③

「会員同士や他クラブとの趣味などの交流の充実」



【ねらい】 気軽に楽しく参加できて、仲間づくりにつながるような交流事業を充実させる。

【ここから始める 小さな一歩】

- ① 会員の意見を踏まえて、活動内容の再点検を行い、無理・無駄な活動内容を見直す(なくす)。
- ② 同じ趣味や興業などを持つ会員同士で、クラブ活動や懇親会など気軽にできる機会をつくる。
- ③ 近隣の老人クラブや子ども会などと交流を深め、一緒に活動する機会を作ってみる。
- ④ 手間や費用を抑えながら、より楽しい活動が行えるように、他団体との交流・連携を深める。

9 今後に向けて

(1) 知多市老人クラブ連合会に求められる役割

1. 地域の複数クラブの行事活動の呼びかけや情報交換会を継続して開催をする。
2. おしゃれ講座、お化粧講座、体力測定会、パソコン講座、気軽なスポーツ交流（輪投げなど）などを開催し、会員・非会員が楽しく活動参加できるような機会をつくる。
3. 市老人クラブ連合会のシンボルマーク的なものを作成し親しみが持てるクラブのイメージアップを図る。
4. 単位老人クラブの活動診断などを行い「知多市老人クラブ活性化方針」の進捗管理をする。
5. 単位老人クラブ活動で行われている何気ない活動にも意味づけ（ふれあいサロン、介護予防、見守り、買物代行など）を行い、老人クラブ大会で表彰し会員のモチベーションを図る。

(2) 知多市及び知多市社会福祉協議会に求められる役割

1. 会員に留まらず、非会員へのPR（マスメディア・広報紙、ホームページ、活動紹介の動画、分かりやすいイラスト冊子、我がクラブの1番の自慢の活動事例集などの作成）を行い広く活動を周知する。
2. 老人クラブ活動のもつ効用（社会性ができる、筋力減少の予防、食育など）が健康寿命につながることを会員募集チラシなどでPRする。
3. 市の「わ〜くわくマイレージ制度」を活用し活動の促進を図る。
4. 地域包括ケアシステムにおける老人クラブの関わりが「多様な通いの場」、「多様な生活支援」につながり、老人クラブ活動そのものが大きな貢献であることをイメージできるようにする。

(3) 各単位クラブに求められる役割

1. 「はじめの一歩チャレンジ」(P.16)や「取組みアイデア」(P.12~15)を参考に無理なく楽しく取り組む。
2. 活動を会員と共有し、丁寧に発信する。（自治会会合、広報、口コミ、看板、回覧板、連合会事務局に情報提供など）
3. 「自分の足でしっかり歩いて生活する」などの単位クラブの具体的な目標を掲げ実践する。
4. 活動内容を団塊の世代向けに見直しを検討する。

【発行】平成29年3月
知多市老人クラブ連合会
知多市老人クラブあり方検討会（事務局：知多市社会福祉協議会）
電話0562-33-7400 FAX0562-32-1479